

おい図書館

No.213

発行
代表
青木和子

TEL 047-311-0886

松本市役所の隣 104-416

浦安市立中央図書館

見学会

Part.2

2020年11月19日(木)の浦安市立中央図書館見学会に参加された皆様から多くの感想を寄せて頂きました。212号に続き、後編として今号に掲載致します。皆様、ありがとうございました。



竹内幸枝

浦安図書館は、関係者の熱い想いが伝わる施設であると共に、市民のニーズを取り入れる努力を感じ、運営である事に感動しました。

。必ずしも静かにする必要のない図書館↓でも、やはり静かにして欲しい利用者も多いのかな?と感じ、双方が快適に過ごせる更なる工夫があるとなお良いと思いました。

市政情報や住民の発行物などがあるのに驚きました。

開かれた図書館、開かれた行政、いいですね。



富田文子

今回はお誘い頂き、嬉しかったです。

私は松戸市役所の側に住んでおり、中学2年生の娘と小学校5年生の息子がおります。娘は本(活字)がとても好きで何で

も読んでしまうので、図書館や学校の図書室は大切な場所です。私も本が好きなので、普段から図書館の子約を活用して借りています。今、子ども達の学びについて活動しており、地域でも子ども達の居場所について考えていたところでしたので、浦安図書館の見学会、そういった場所としての図書館の可能性を見た気がしました。施設については、松戸は残念なところでは勿論ありますが、司書の方の熱意や工夫を思うと、市内での図書館運営や、学校図書室を巡回している司書の方は、皆さん情熱があるので、負けていないと感じています。

浦安図書館見学会についてFBにあげたところ、子育て中の方の反応がかなりありましたので「おい図書館」さんの活動があることや図書館についての情報交換会があれば面白いなあと感じました。

私たちは、コロナ禍になって初めて「教育委員会って？」行政は？などと学が始めたばかりです。今、「まつとでつながるプロジェクト」というNPOと行政とが一緒に松戸市の子育てを考える動きなどもあり、少しずついろんな保護者が意思を持って動き始めていて心強いです。

松戸は、子ども達にとっても私達夫婦にとっても終の棲家になると思うので、どんどん良くなって欲しいと思っています。

また何かありましたら、お誘い頂けると嬉しいです。今後とも、よろしくお願い致します。



松戸市議 中西香澄

図書館行政に取り組む上で、「必ず行くべき」とお聞きしていた浦安図書館への視察に同行させて頂き、ありがとうございました。

きれいに整えられた館内は、とても魅力的でしたが、強く印象に残ったのは、それ以上の物でした。

市民ニーズに答えるV

公共施設によくある「残念な所」が無く、かゆい所に手が届く「これは便利！」な工夫が各所にされていました。

例を挙げると、一つ目は子どもエリヤ。

カーペットスペースの心のび広場を設置して、親子が過ごし易いスペースにし、一般の空間から離れている為、読み聞かせができる空間が作られています。また、授乳室とトイレが離れた場所ではなく、児童フロアの中に作られていました。子どももお気に入りの本を見つけるとすぐ読みたがりまですし、すぐにトイレに行きたくなります。兄弟連れであれば、上の子が本

を楽しんでいても下の子が急に授乳で泣き出してしまふ、そんな状態でも安心して過ごせる空間で、親子連れへの歓迎の気持ちが伝わってきました。

二つ目はコロナ対応への工夫。

手に取った本、返却された本は一日書棚に戻さずにバックヤードで保管し、予約本などすぐに貸し出す必要がある本は表紙をアルコール消毒しています。更に個人的に気になる方の為に自由に利用できるような本の滅菌機がフロアに設置されていました。全ての本の滅菌処理は作業負担が大きいですが、利用者が行う事で作業負担を増やさず安心を提供できます。

挙げればきりが無い程、利用者の立場に立って考えられている事が各所で感じられました。

市民の価値V

その様な対応を可能にしたのは徹底した調査の結果です。改修に

当たって、利用者は勿論、図書館を使わない人や他の公共施設での市民ニーズ調査を行い、吸い上げた意見を活かして計画を立てたのです。うやむやだけの証拠集めのアンケートではなく、市民のニーズを把握してより良い図書館にしたいという強い思いがありました。行政側は肩命運が勧めたい内容でアンケートを作る事も可能です。

しかしこれでは、出来上がった成果物が残念ながら市民から愛される事はなく、新たな不満の種になってしまふことでしょう。

人熱意の力

何よりも印象に残っているのは「館長の熱意」です。

お話から、もつと使いたくなる図書館、生まれてから死ぬまで使える図書館を目指しているという明確なビジョンと、もつと多くの市民の方が図書館に足を運ぶ活用する事が出来るのかを真に考えて

運営されている事がうれしと伝わってきました。

まちがあつて、図書館があつて、人が集まる。教育であり、生活支援であり、居場所となる、図書館の無限の可能性を実感する時間となりました。

堀健二



見学会に参加させて頂き、ありがとうございました。以下、感想をメモ致します。

1. 図書館規模の比較について

	松戸市	浦安市
人口	約50万人	約17万人
蔵書数	約59万冊	約110万冊

どうしても松戸市と比較して考えてしまいます。単純な比較は勿論できませんが、図書館など生涯学習施設を考える基本的な姿勢に相違があり、長年の蓄

積で差異が出てきているような思いを持ちました。

2. 図書館運営の重点方針について
浦安市立中央図書館の充実した施設は言うまでもありませんが、リニューアルを実施することそのものが、素晴らしい取り組みだと感じました。

そうした中で特に

① 子どもエリアについて

図書館は子どもや学生への手厚いガイダンス、施設整備が一番大事ではないかと思えます。家庭の経済的事情に関係なく、子どもの勉強、好奇心に應えることが重要であり、成人への施策は二の次ではないか。大阪の「子ども本の森中之島」(安藤忠雄氏が建物を大阪市に寄贈)が素晴らしい例だと思います。(岩手県遠野に二番目が今年でまるそうです。)

浦安市の「子どもエリア」

のような場所とアドバイザーの存在が羨ましいと感じました。

③図書館司書について

司書の居ない、レファレンスの無い図書館は図書館ではない？へ正規職員32名と非常勤職員20名は全員司書有資格者、その他の非常勤職員と合計約140名、休まない図書館である事と合わせて、図書館の基本が守られていると感じました。(パンフレットの表紙に「司書があつたの学びをサポートします」と明示されていました。)

図書館の知識や松戸市の図書館施策を十分に理解していませんの感想で失礼致します。

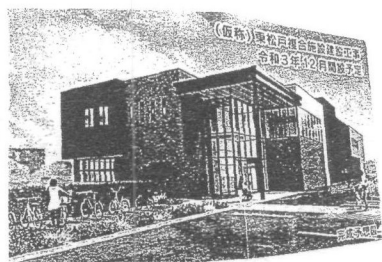
長年の市民の願いかと思えますが、松戸市の図書館整備が見えてきた中で、浦安市立中央図書館をはじめ近隣の施設を大いに参考にすべきと考えますし、面白い図書館

「書館」の活動が改めて有意義であると感じました。貴重な機会をありがとうございました。

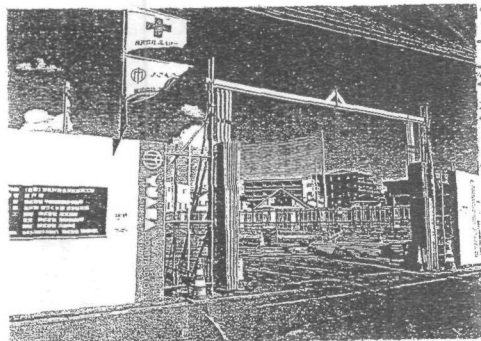


東松戸複合施設(含地域図書館) 新築工事中!!

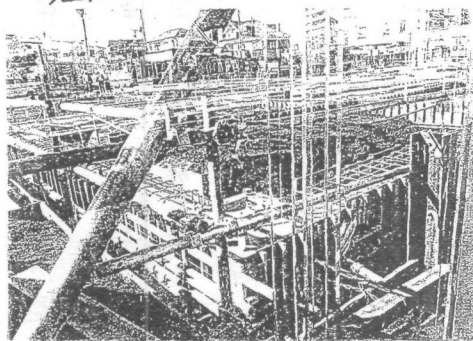
浦安からの帰途、有志が東松戸で途中下車し、市役所支所、青少年プラザ、地域図書館の複合施設工事現場を見



出来上がり予想 イメージ



現在 工事中です!



事業計画公開板	
事業地の所在	松戸市 東松戸2丁目(東松戸駅南口徒歩10分)
事業面積	2,435.22㎡
事業目的	国・市・民が連携して行う複合施設整備事業
計画戸数	
施設	地上 2 階・地下 1 階 高さ 32.8 m
建築面積	1,190.25㎡
延べ面積	2,155.12㎡
工事着手予定日	令和 5 年 10 月・日頃
建築主	松戸市(代表者)
協賛主	松戸市(代表者)
設計者	松戸市(代表者)
施工者	松戸市(代表者)
竣工年月日	令和 5 年 11 月 14 日

※この計画は、松戸市中央図書館移転後の建設時に係る計画の予備図及び関係に関する関係者との協議により決定したものです。
 ※上記計画内容については、関係者との協議により決定したものとさせていただきます。
 (連絡先) 松戸市(代表者) 電話 047-367-2251
 (担当) 松戸市(代表者) 電話 047-367-2251

撮影 青木和子

て来ました。「本当に」工事が始まっている、と感無量でした。
 2月3日に再訪し、工事が進んでいる様子を見学しにやってきました。12月の開館に向けて、期待が膨らみます。